

Nishi Aizu



つかまえたっ!

もくじ - Contents -

P 2 特集 **認知症と暮らし**を考える

P 8 **平成30年度 町成人式 挙行**

P 10 まちの話題

ふるさと奥川盆踊り大会、いわき市立豊間小児童との夏季交流、涌井ナヨさん百歳賀寿、熊沢で20年ぶりに「魚つかみ」、西会津高で体験入学 ほか

P 14 町からのお知らせ&ニュース

湧水対策本部設置、各種競技の全国大会出場報告、小学校合同水泳記録会、新たな診療所医師に助川先生 ほか

認知症と暮らしを考える



認知症になっても、
自分らしく最期まで、
住み慣れた地域で暮らすために。

認知

知症は、皆さんにとつてどのような存在でしょうか。まだまだ他人事の人もいれば、身近な人が認知症かもしれないと感じている人もいるかもしれません。認知症は誰にでも起こりうる脳の病気で、85歳以上の4人に1人はその症状があるといわれています。

本町の高齢化率は、県内で5番目。近年は常に上位に位置しており、超高齢化時代を迎えています。誰もが「人生の最期を迎えるときまで自分らしくありたい」と望む一方で、認知症は深刻な社会問題のひとつになっています。認知症のさまざまな症状が原因で、親しい人との関係が崩れてしまったり、家族が疲れ切ってしまったり……。そうした現実があることも事実です。しかし、周囲の理解や気遣い、そしてサポートがあれば、たとえ認知症になったとしても自分らしく暮らしていくことは可能です。

自分が認知症になったとき、家族が認知症になったとき、私たちはどうすればいいのでしょうか。まずは正しい知識を持つことが大切です。

まずは知ろう、認知症のこと。

認知症の症状と種類

認知症とは

さまざまな原因によって脳の細胞が死滅し、記憶・判断力などに障害が起こり、生活する上での支障がおよそ6か月以上継続している状態をいいます。

認知症の症状

症状はさまざまですが、大きく分けると「中核症状」と「行動・心理症状」の2つがあります。中核症状は脳の細胞が壊れることによって起こる症状で、治すことができません。行動・心理症状は、本人の性格や環境、人間関係などの要因が絡み合っ起こる精神症状や日常生活における行動上の問題で、周囲の接し方次第で改善したり、悪化したりします。

実行機能障害

段取りや計画を立てて行動できない

見当識障害

日付や時間、季節、場所、人物などが分からない

中核症状

(治すことができない)

理解・判断力の障害

考えるスピードが遅くなる、2つ以上のことが重なると理解できない、いつもと違うと混乱する

記憶力の低下

新しいことを覚えられない、知っているはずのことを思い出せない

徘徊

興奮・暴力

うつ状態

妄想・幻覚

行動・心理症状

(接し方で改善する可能性あり)

不安・あせり

介護拒否

食欲低下

アルツハイマー型認知症

脳の神経細胞が徐々に減り、脳が縮んで小さくなるために起こる病気です。物忘れが徐々に増え、新しいことを覚えるのが難しくなります。時間や場所が分からなくなったり、不安感やイライラが募ったり、さまざまな症状がみられます。



脳血管性認知症

脳梗塞や脳出血などによって脳血管が詰まったり破れたりし、神経細胞が壊れてしまうことで起こる病気です。記憶障害や判断力の低下、涙もろくなるなどの症状があります。脳梗塞や脳出血が再発するたびに、症状が突然現れることがあります。



レビー小体型認知症

「レビー小体」という特殊なたんぱく質が脳の中にたまることによって起こる病気です。物忘れのほかにも、幻覚や妄想、また、体の動きがぎこちなくなるなど身体に関する症状がみられることもあります。



前頭側頭型認知症

脳の前の部分や横の部分で神経細胞が減り、脳が縮んで小さくなることで起こる病気です。感情のコントロールができなくなって暴力的になるなどの「性格の変化」や、身だしなみに無頓着になるなどの「生活上の行動変化」が症状に現れることがあります。



若年性認知症

65歳未満の働き盛りの世代にも起こる認知症です。ほかの認知症に比べ、本人はもちろん、家族の生活に与える影響は大きく、社会的にも重大な問題となっています。



その他の認知症等

アルコールを多量に飲み続けたことにより脳が縮んだり、栄養障害になったりすることで起きる「アルコール性認知症」や、頭部のけがや病気などが原因で認知症のような症状が現れる病気もあります。



認知症にやさしい地域づくりを推進。

認知症支援の取り組み

認知症になっても、本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、町では認知症に対するさまざまな取り組みを行っています。

認知症への理解を深める

■認知症サポーター養成講座
認知症を正しく理解してもらい、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者となってもらうため、学校やサロン、老人クラブ、商工会などで「認知症サポーター養成講座」を開催しています。この講座を受講すると、認知症サポーターの証である「オレンジリング」が交付されます。



■認知症の容態に応じた医療・介護の提供
■認知症地域支援推進員
関係機関との連携強化のほか、本人や家族からの相談に対応するため、地域包括支援センターに認知症支援を専門に行う認知症地域支援推進員を配置しています。



認知症サポーター養成講座

■認知症支援ガイド
認知症の進行に合わせた相談先や医療・介護サービスの紹介、症状に応じた助言、また、生活環境に応じた支援などを行います。「認知症だと思っけど、本人が受診を拒否していい」「診断は受けていないけれど、もしかしたら認知症かも」というように、どう対応したらいいか悩んでいる場合は早めにご相談ください。

談先や医療・介護サービスの情報をまとめたガイドブックとして「西会津町認知症支援ガイド」を作成し、普及活動を行っています。このガイドブックは町内全戸に配布しました（町のホームページにも掲載しています）。



■認知症初期集中支援チーム
認知症の疑いがある人の早期診断・早期対応に向けた体制を整備しています。
※詳しくは5ページに掲載

認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり

■西会津町高齢者等あんしん見守りネットワーク事業
町民の異変を早期に発見し、迅速な対応に向けた連絡体制をつくるため、町では町内で企業活動を行う45の事業所や商店などの協力



を得て、地域全体での高齢者等の見守り、支え合いの仕組みづくりに取り組んでいます。
※詳しくは6ページに掲載

■「認知症サポーターのいる安心店」ステッカー交付
認知症サポーターがいる町内の事業所や商店などに、認知症の人やその家族が分かるようにステッカーを張っています。



介護職員の対応力向上

■認知症ケアスキルアップ研修
認知症の人やその家族の支援に関わるスタッフの対応力向上を目的とした研修を実施しています。

■アクションミーティング
認知症の人の声に耳を傾け、本人のやりたいことを小さなことから実施するため、話合いの場を設けて情報交換等を行っています。

介護者への支援

■西会津町かえるNETシステム事業
認知症等が原因で帰宅困難、または行方不明になってしまい、発見・保護された際に、早期に身元を特定して家族や支援者などに連絡できるよう、専用のQRコードを配付して家族の不安軽減を図っています。

その他の取り組み

■キャラバンメイト連絡会
認知症サポーター養成講座で講師を務める17人が集まり、講座の計画立案や勉強会を行っています。

■グループホーム連絡会
町内にある3つのグループホームが認知症ケアの専門性を活かし、「認知症カフェ」などを開設できるよう、情報交換や勉強会等を行っています。（認知症カフェ＝認知症の人やその家族の交流・相談・情報交換の場）。

本年4月に設置。認知症の早期発見、早期対応に向けた取り組み。

認知症初期集中支援チーム

認知症初期集中支援チームは複数の専門職で構成する認知症の支援チームで、家族の相談などにより認知症の人やその家族、または認知症の疑いがある人の家庭を訪問し、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行います。町の支援チームは医師と保健師、社会福祉士の3人の専門職で構成しており、必要な

支援の対象者は？

自宅で生活をしている認知症の人または認知症の疑いのある人のうち、次の①～④のいずれかに該当する人



- ① 認知症の診断を受けていない
- ② 継続的な医療サービスを受けていない
- ③ 適切な介護サービスに結びついていない、または中断している
- ④ 認知症の症状が強いため対応に困っている

相談から支援までの流れ

まずは相談

認知症の疑いがあり、左上囲みの①～④に該当する場合は、一人で悩まず、まずは相談ください。にしいづ地域包括支援センター
☎45-3327

初回訪問

保健師と社会福祉士が訪問し、対象者の症状などを確認します。

支援方針の検討

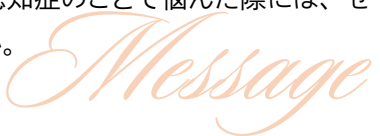
保健師と社会福祉士が対象者の症状などを医師に報告し、3人で今後の方針を検討します。

必要な支援の実施

3人で決めた方針をもとに、必要な医療や介護サービスを紹介、症状に応じた助言、生活環境に応じた支援などを行います。

認知症初期集中支援チームからメッセージ

認知症の早期発見・早期対応は、自分らしい生活を送るために非常に重要なことです。本人が病気として理解できるうちに、少しずつ認知症に対する知識を深めていくことで、その後のトラブルを減らし、医療や介護の方針を自分で考えることができます。また、家族の介護負担の軽減も図ることができます。支援チームが関わることで、早期に医療機関や介護サービスにつなげることができるため、認知症のことで悩んだ際には、ぜひご相談ください。



事務局
二木 美津子
(福祉介護課)

社会福祉士
鈴木 朋美
(にしいづ地域包括支援センター)

医師
岡崎 栄和
(西会津診療所)

保健師
新田 幸恵
(西会津診療所)



認知症初期集中支援チーム

認知症を知り、あなたもサポーターに！

地域ぐるみで認知症を支える

本町では、人口減少による過疎化と、それに伴う少子・高齢化の進展により、地域を自分たちで支える機能が低下してきています。

こうした中、町では地域の高齢者や障がい者、子どもたちの見守りに加え、町民の異なる早期発見、早期対応に向けた情報連携の仕組みづくりに向け「西会津町高齢者等あんしん見守りネットワーク

事業」を行っています。

平成30年7月末現在、町内で企業活動を行う46の事業者が賛同し、町と協力しながら地域全体での高齢者等の見守り、支え合いに協力してくれています。

また、町ではこのほか14の事業者と「地域見守りネットワーク」の取り組みに関する協定」を締結しています。さらに、協力事業者が認知

症サポーター養成講座を受講すると、町では「認知症サポーターのいる安心店」ステッカーを交付しています。

このステッカーは「認知症の人やその家族に優しいお店」の証です。このステッカーがあることにより、認知症の人やその家族が認知症サポーターの存在を知り、安心して買い物をしたり、用事を済ませたりすることができます。

西会津町高齢者等あんしん見守りネットワーク事業の事例

①A事業所が発見、町へ連絡

A事業所から「野沢町内で、認知症高齢者と思われる人を発見した。本町方面へ向かって歩いている」と情報提供があった。

②連絡を受け、町が対応

職員が現地に向かい話を聞いたところ、「自分がどこを歩いているか分からない」と答えた。持っていた連絡先に電話したがつながらなかったため、一旦町役場で保護した。しばらくして家族が無事迎えに来た。

「スーパーに買い物に来たが、家族が目を離した際にはぐれてしまい、探していた」とのことだった。

→早期発見、早期対応が功を奏し、事故等につながるのを未然に防ぐことができた。

認知症の人とその家族の視点に立った支援。

大切なのは意志の尊重

認知症支援で大切なのは「認知症の人の意思の尊重」であり、本人や家族の視点を重視した施策が不可欠であるとされています。

町では、平成29年度に東京都健康長寿医療センターの研究事業に参加し、本人の声を傾け、本人のやりたいことを実現するための話し合いの場「アクションミーティング」を本町で実施しました。

この経験を生かし、本年度は町内の3つのグループホームと町が連携しながら実施している「グループホーム連絡会」において、利用者の「町のイベントに参加したい」「外出したい」という声をもとに、3つのグループホームで何かできないか検討してきました。「診療所の定期受診を楽しみしている。顔を知らなくとも、町の人と会話してい

る姿が多くみられる」「子どもが来ると喜ぶ」という職員の声もあったことから、3つのグループホーム合同で畑作業を通じた外出・交流を行うことにしました。また、こゆ

りこども園の園児を招いて交流を図ろうと計画を立て、6月15日に1回目のグループホーム合同の交流会を、7月24日に園児とのジャガイモ掘りを実施しました。秋には収穫祭を兼ねた交流会も予定しています。

認知症支援は、本人の声をもとに、本人の視点に立って支援の内容を振り返ることで、支援をより良いものに改善していくことができます。

本人が何を考えているのか、また、どうしたいのか。その声に耳を傾け、一緒に「認知症」のことを考えていきましょう。



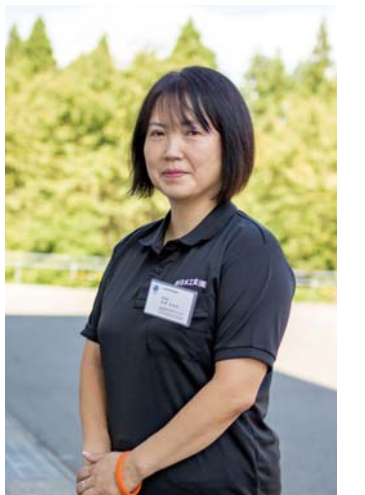
写真=グループホーム入所者とこゆりこども園の園児によるジャガイモ掘りから



社員が認知症を正しく理解し、社外でも生かす。会社での講座の開催が、認知症への理解の輪を広げる一助になれば――

認知症支援について聞いたことはあるけれど、何をしたらいいのか分からないと思っている人が多いと思います。私自身、認知症の祖母を介護した経験がなければ無関心だったかもしれません。会社は、商店などと違って不特定多数の人が訪れることはありません。でも、多数の社員が集まる所です。その社員が認知症をきちんと理解し、社外でも生かせればいいなと思いついて「認知症サポーター養成講座」をお願いし、開催することができました。

町の高齢化については社員全員が認識しており、他人事ではないことも理解していました。「受講したから何かをしなればならない」ではなく、こういったことを学ぶ時間を設け、現状を把握し正しい知識を得ることが大切です。今回の会社での講座の開催が、認知症への理解の輪を広げる一助となればと思っています。



(高齢者等あんしん見守りネットワーク協力企業) 新日本工業 株式会社 常務取締役

岩淵 まゆみさん

平成30年度町成人式 挙行

平成30年度町成人式は、8月15日に西会津中学校多目的ホールで行われ、55人の新成人の皆さんが出席しました。本年度に成人を迎えるのは、平成10年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた皆さんです。

会場では、式に先立ち新成人の幼少時代や近況の映像を収めた成人式の記念DVDが上映され、懐かしい映像に歓声が上がりました。

式では、薄友喜町長が佐藤敦啓さんに成人証書を、恒吉俊哉さんに記念品を贈り、「皆さんが何か困ったり、立ち止まったりしたときは、ぜひ古里・西会津を思い出してみてください。解決のヒントが生まれるかもしれません。新たな人生の節目に皆さんの活躍を期待しています」と式辞を述べました。続いて武藤道廣町議会議長が祝辞を、にしあいつ観光クルーを務める榎本梨奈さんが自身の経験をもとに激励の言葉を贈り、新成人



の新たな門出を祝いました。式の最後には、川上瑞稀さんが新成人を代表して誓いのことばを述べ、「今日、私たちが笑顔で成人式を迎えることができるのは、支えてくれた家族、指導してくれた多くの先生方、私たちの成長を温かく見守ってくれた地域の皆さん、そして共に歩んだ友人、仲間たちのおかげです。この感謝の気持ちと西会津町で生まれ育った誇り、そして成人としての決意を胸に刻み、これからの人生を歩んでいきたいと思います」と決意を新たにしました。式の後には、成人を迎えた感想やこれからの抱負を発表する「1分間スピーチ」や、中学校時代の恩師からのビデオレターの紹介が成人式実行委員会による記念行事として開催されました。

成人を迎えた「感想」や「これからの抱負」を発表しました。

1分間スピーチから



古川 成吉さん (橋屋)

警察官になるため勉強中です。支えてくれた皆さんを、今度は自分が支えられるよう頑張ります。



大田 聖羅さん (縄沢)

社会福祉士を目指して勉強中です。残りの学生生活を充実させ、社会に貢献できるよう頑張ります。



礎 滯風さん (さゆりが丘)

大学でスポーツ学などを学んでいます。親に恩返しできるように人生を送りたいと思っています。



生方 実国さん (森野)

消防士として働いています。まずは今の仕事に慣れるよう精一杯頑張っていきます。



伊藤 峻さん (5町内)

救急救命士になるため勉強中です。災害や事故などの現場で命を救うスペシャリストを目指します。

成人式出席者

〔名簿より、敬称略〕

〔野沢地区〕▽1町内Ⅱ齋藤好継、平野大夢、三留星七▽2町内Ⅱ鈴木夏純▽4町内Ⅱ二瓶修哉▽5町内Ⅱ恒吉俊哉、鈴木知里、伊藤峻▽7町

内Ⅱ伊藤初美▽9町内2Ⅱ山崎弘太▽芝草Ⅱ佐藤茂哉、横山雄大▽堀越Ⅱ渡部真子、齋藤和斗▽大久保Ⅱ小瀧正太、清野響輝▽中野Ⅱ鈴木菜穂▽安座Ⅱ平野愛華〔尾野本地区〕▽西原Ⅱ清野匠、須藤優、上野莉緒▽森野Ⅱ生方実国、佐藤輝、渡部達能▽萱本Ⅱ渡

部魁聖▽松尾Ⅱ長谷川峻一▽下小島Ⅱ佐藤優奈、清野真耶▽西林Ⅱ小林菜、須藤僚太▽西林東Ⅱ若木美奈、三留三幸▽さゆりが丘Ⅱ礎滯風、中丸知也、薄楓、渡部諒、長谷川将大▽上小島Ⅱ薄上マリン、山口快▽縄沢Ⅱ大田聖羅、三留響▽程窪Ⅱ新田亜美▽出ヶ

原Ⅱ佐藤麻衣〔群岡地区〕▽上野尻Ⅱ石崎理々香、登島裕貴、市橋東磨▽熊沢Ⅱ佐藤敦啓〔新郷地区〕▽高目Ⅱ長谷沼雅子▽樟山Ⅱ薄菜奈、武藤彩華▽滝坂Ⅱ五十嵐優佳▽橋屋Ⅱ古川成吉〔奥川地区〕▽杉山Ⅱ津川莉奈▽新町Ⅱ熊倉聖那▽下松Ⅱ川上瑞稀





長寿を祝い賀寿贈呈

涌井ナヨさんが満100歳に

涌井ナヨさんが8月10日に満100歳を迎えられ、同日、さゆりの園で賀寿贈呈式が行われました。式では、県や町、町老人クラブ連合会から賀寿と記念品が贈られ、さゆりの園の入所者と職員から記念品が贈られました。薄友喜町長は「これからも元気で長生きしてください」と祝辞を述べ、式の最後には親族の涌井長榮さんが謝辞を述べました。



平成30年度西会津町戦没者追悼式

恒久平和の誓いを新たに

町では、戦没者を悼み、恒久平和の誓いを新たにするため7月31日に戦没者追悼式を開催しました。式では、参加者全員で黙とうを捧げた後、薄町長が式辞を述べ、青木照夫町議会副議長や西会津町遺族会の佐野順子群岡地区遺族会代表らが追悼の辞を述べました。最後は参加者全員で献花を行い、戦没者の安らかな眠りを願いました。



野沢常泉寺・黒地藏尊の祭礼

子どもたちの健やかな成長願う

7月24日の縁日に野沢常泉寺・黒地藏尊の祭礼が開かれ、駅通り商店会による露店が並ぶ境内は今年も多くの親子連れなどでにぎわいました。子育て黒地藏さまは、古くから常泉寺に祀られ、霊験あらたかな地藏さまとして多くの信仰を集めていたと伝えられ、毎年子どもたちの健やかな成長を願い、町内の大勢の皆さんがお参りに訪れています。



にしあいづ健康ミネラル野菜普及会の皆さんが販売

道の駅でミネラル野菜お盆市

8月11日と12日の午前11時から午後2時ごろまで、にしあいづ健康ミネラル野菜普及会の皆さんが道の駅にしあいづの情報提供施設でミネラル野菜お盆市を開催しました。お盆市では、トマトやキュウリ、カボチャなどのミネラル野菜はもちろん、お盆用の切り花などが販売され、売り場は新鮮な野菜を求める買い物客でにぎわいました。

ふるさと奥川盆踊り大会

楽しみいろいろ 真夏の夜の風物詩

恒例の「ふるさと奥川盆踊り大会 & ビアガーデン」が8月14日に奥川みらい交流館前グラウンドで開催されました。当日は、高揚塾、奥川婦人会の会員を中心に朝から準備が行われ、ビアガーデンは午後5時30分から、盆踊りは7時30分から始まりました。ビアガーデンが始まるのを待ちに待っていた皆さんが次々と来場し、開始早々に飲み物と食べ物売りが売れていきました。盆踊りには地元住民をはじめ、帰省客など町外の皆さんも数多く参加し、グラウンドにひとつの大きな輪ができました。盆踊りの最後には、おたのしみ抽選会が開催され、参加された皆さんに素敵なプレゼントが当たりました。



いわき市立豊間小学校児童との
夏季交流事業

たくさんの体験を 通して友情深める

今年で28回目を数えるいわき市立豊間小との交流が8月3日、4日の2日間で行われ、西会津小と豊間小の5年生約50人が交流を深めました。児童らは今夏も「いわき海浜自然の家」に宿泊し、初日は舟戸海岸での磯遊びやスイカ割り、魚釣りを楽しんだほか、夜はキャンプファイヤーを行い友情を深めました。2日目は塩屋埼灯台など豊間町の散策や、アクアマリンふくしまを見学し、海の自然を満喫しました。

すっかり仲良しになった児童らは、冬の西会津での再会を誓っていました。





西高魅力発信隊の活動と成果を伝える

西会津中生に向けて活動発表

7月10日、西高魅力発信隊の皆さんが西会津中の3年生に向けてこれまでの活動の概要などを発表しました。西高魅力発信隊は、町やi.club（アイ・クラブ）と共に地域活性化を目的とした商品開発に取り組んでおり、「車魅ラスク」はその成果の一つです。西会津中3年生の皆さんは、西高魅力発信隊の発表に熱心に聞き入っていました。



「新しい学び」の一步

プログラミングに挑戦！

2020年から小学校で必修となる「プログラミング教育」に先駆け、7月22日、町教育委員会ではIT企業の協力の下、西会津小の4～6年生を対象に「プログラミング教室」を開催しました。当日は、参加した児童14人がタブレット端末とロボットを使ってプログラミングを体験し、自分のプログラミングでロボットが目の前で動く感動を味わいました。



商工会青年部・女性部による夏の風物詩

たかはし桜公園でビアガーデン

町商工会青年部・女性部による西会津・納涼ビアガーデンが7月27日、28日の2日間にわたり、たかはし桜公園で開かれました。暑い日が続いたこともあり、初日の金曜日は満員御礼、席が足りないほど多くの家族連れなどが涼を求めて訪れました。来場した皆さんは、珍しいビールやさまざまな軽食に舌鼓を打ちながら、楽しい夏の宴を満喫していました。



野沢ふるさと夏まつり盆踊り大会

額に汗して楽しいひととき

恒例の野沢ふるさと夏まつり盆踊り大会が8月15日に開かれ、町内の企業や団体、帰省客など、大勢の皆さんが参加しました。あいにくの雨模様で例年より短い時間で閉幕となりましたが、野沢の夏の風物詩を一目見ようと訪れた観客が見守る中、参加した皆さんは額に汗をにじませながら、楽しそうに夏の夜のひとときを満喫していました。

屋敷・楳木平・熊沢の若手が提案

約20年ぶりに「魚つかみ」を開催！

8月14日、熊沢自治区の鬼光頭川で「魚つかみ」が開催され、屋敷・楳木平・熊沢の地元の子どもたちや帰省した子どもたちが歓声を上げながら魚つかみに挑戦しました。

最初は元気よく逃げる魚に遊ばれていた子どもたちですが、ひとたび捕まえ始めると一人で数十匹もの魚を捕まえる名人？もいました。最後は大人も参加し、放流した約250匹のイワナを捕まえました。

この魚つかみは、かつては毎年開かれており、昔この行事を楽しんでいた地元の若手が「今の子どもたちにも体験させたい」という思いから提案し、約20年ぶりに復活させました。



中学生に西会津高の魅力を伝える 西会津高で体験入学

7月27日、中学生を対象とした「1日体験入学」が西会津高で開かれ、6つの中学校から15名の中学生が参加しました。当日は運営の大部分を在校生が担い、現役高校生の本音を交えた学校生活の様子や、「立志塾」における大学進学を目指した勉強の取り組み状況などを、分かりやすく中学生に伝えました。

このほか、高校の授業を中学生が実際に受ける模擬授業や、ボート部員の指導による「エルゴ体験」、西高魅力発信隊による寸劇を交えた活動状況報告などが行われ、参加した中学生からは、「先輩や先生がやさしい」「楽し学校生活が過ごせそう」といった感想が寄せられました。





第45回全日本中学校陸上競技選手権大会

外島央さんが走り幅跳びで全国大会出場



↑左から薄町長、外島央さん、外島拓さん（央さんの父）

8月10日、会津学鳳中3年の外島央さん（下野尻）が町役場を訪れ、走り幅跳びでの第45回全日本中学校陸上競技選手権大会への出場を薄町長に報告しました。

外島さんは第61回福島県中学校体育大会陸上競技大会で全国大会標準記録を超える5.75mの跳躍で優勝、全国大会出場を決め、第39回東北中学校陸上競技大会でも5.73mの跳躍で優勝しました。薄町長から激励金を受け取った外島さんは「自己ベストを更新し、全国大会でも活躍していきたいです」と抱負を話しました。

会津坂下町・西会津町 小学校水泳記録会

4つの大会新を西会津小の児童が記録！

7月23日、第6回目となる会津坂下町との合同水泳記録会が「ばんげひがし公園町民プール」で開かれました。記録会には西会津小、坂下東小、坂下南小の6年生が参加し、学校対抗の200mメドレーリレーなど17種目が行われました。

参加した児童らは保護者の声援を受けながら日頃の練習の成果を披露し、西会津小の児童らは4種目で大会記録を更新しました。

◎男子200mメドレーリレー

第3位西会津A（3分35秒18）

◎男子200mリレー

第3位西会津（2分56秒85）

◎男子50m自由形

第2位結城陸央（45秒48）

◎男子100m自由形

第4位長谷川陽大（1分38秒60）

◎男子50m平泳ぎ

第6位杉原羽空（1分7秒21）

◎男子100m平泳ぎ

第1位鈴木正人（1分39秒18 **大会新!**）

◎女子200mメドレーリレー

第1位西会津A（2分55秒75 **大会新!**）、第4位西会津B（3分25秒80）



◎女子200mリレー

第1位西会津A（2分38秒33）、第4位西会津B（2分58秒66）

◎女子50m背泳ぎ

第1位小柴彩愛（44秒85）

◎女子50m自由形

第1位相原静空（38秒35）、第5位伊藤詩野（45秒59）、第6位佐藤奈奈（47秒87）

◎女子100m自由形

第2位岩原茉佑（1分32秒19）

◎女子50m平泳ぎ

第1位物江花奈（49秒49 **大会新!**）、第3位伊藤夕藍（1分1秒48）、第5位橋谷田真緒（1分9秒19）、第6位折笠遥南（1分29秒63）

◎女子100m平泳ぎ

第2位小林芽生（1分57秒13）

◎女子50mバタフライ

第2位塚原美月（39秒60 **大会新!**）、第4位橋本美空（56秒51）

◎オープン女子・男子25m

第3位渡部瑠威（31秒49）、第6位渡辺悠太（41秒30）

<問い合わせ先>

学校教育課 学校教育係 ☎ 45-2216

揚水ポンプ購入費などを補助しています

24年ぶりに渇水対策本部を設置

町では、例年になく少雨により水不足が懸念されることから、町民生活への影響や農作物などへの深刻な被害が出る前に対策を講ずるため、8月1日午後4時に「西会津町渇水対策本部」を設置しました。これに伴い、町では9月10日まで農業用水をくみ上げるための揚水ポンプ購入費などの補助申請を受け付けています。

◆補助の内容

農業用水をくみ上げるための揚水ポンプ等の購入費やリース料の3割（上限5万円）、さらに、この揚水ポンプ等に係る燃料費の5割（上限5万円）を補助します。

<問い合わせ先> 農林振興課 農政係 ☎ 45-4531



↑役場正面玄関に渇水対策本部の看板を設置する薄友喜町長、岩淵東吾農林振興課長、石川藤一郎建設水道課長（左から）

全国ジュニアゲートボール大会への出場を薄町長に報告

西会津中生らがゲートボールで全国大会出場

7月23日、町ゲートボール協会の齋藤知一会長と西会津中の生徒らが町役場を訪れ、第23回全国ジュニアゲートボール大会への出場を薄町長に報告しました。薄町長は「日頃の練習の成果を十分に発揮してきてください」と生徒らに激励金を手渡しました。同大会は7月28日から29日にかけて埼玉県熊谷市で開かれ、西会津中から2チームが出場しました。両チームともに健闘しましたが、惜しくもリーグ戦で敗退となりました。



第72回全国高校ボクシング選手権大会への出場を薄町長に報告

齋藤峻さんがボクシングで全国大会出場

7月26日、会津工業高3年の齋藤峻さん（3町内）が町役場を訪れ、第72回全国高校ボクシング選手権大会への出場を工藤倫也副町長に報告しました。工藤副町長は「実力を発揮できるように調整し、頑張ってきてください」と齋藤さんに激励金を手渡し、齋藤さんは「全国大会になるとレベルが高くなるので、とりあえずは初戦突破を目指したい」と話しました。

同大会は8月1日から7日間にわたって岐阜県岐阜市で開かれ、齋藤さんはライト級に出場し、健闘しました。



↑左から工藤副町長、齋藤峻さん、齋藤宏一さん（峻さんの祖父）



INFOMATION

お知らせ
INFOMATION

ケーブルテレビ
さゆりチャンネル
9月の番組案内

◆町議会9月定例会
9月7日(金)開会予定
生放送 午前10時～
再放送 午後6時～
※放送日時変更となる場合
があります。
◆町民リポーター募集中
撮影やリポート、情報提供
など番組制作に協力してい
ただける町民リポーターを募集
しています。

◆問い合わせ先
(一社)西会津ケーブルネット
☎ 45-4461

県立医科大学会津医療センターより派遣、毎週木曜日に診察
新たな診療所医師に助川先生(内科)が着任

9月からの西会津診療所の診療に、新たに助川真純先生(内科)が加わる
ことになりました。助川先生は県立医科大学会津医療センターより町診療所に派遣
いただく非常勤医師で、毎週木曜日に診療を行います。これに伴い、西会津診療所
の診察体制が次のとおり変更となりますので、受診の際は間違いのないようお
願いします。



すけがわ ますみ 助川 真純 医師

町民の皆さんのお役に
立てるよう頑張りたい
と思います。

＜問い合わせ先＞ 西会津診療所 ☎ 45-4228

診療所	診察開始時間	月	火	水	木	金
西会津	午前9時～ 午後3時30分～	坂田	坂田	坂田	坂田	坂田
		岡崎	岡崎	岡崎	岡崎	岡崎
		-	-	-	助川	-
		坂田	坂田(交替) 岡崎	坂田(交替) 岡崎	助川	岡崎
群岡	午後2時～	岡崎	*	*	*	坂田
奥川	午後2時～	*	岡崎(交替) 坂田	*	*	*
新郷	当分の間休診	*	*	*	*	*

※ 部分が変更箇所です (*印は診察がない日です)。

9月21日は休診
群岡診療所

群岡診療所の9月21日の診
療はお休みです。ご理解とご
協力をお願いします。

◆問い合わせ先
西会津診療所
☎ 45-4228

介護補助講習の
受講者を募集!

県シルバー人材センター連
合会では、働く意欲を持った
高齢者が年齢にかかわらず
生涯現役で働くことができる
社会を実現するため、希望す
る55歳以上の人を対象に技能
講習などを行っています。詳
しくは問い合わせください。

◆介護補助講習
介護補助員としての基礎的
な知識や技術を学びます。

◆日程
10月4日(木)～18日(木)

◆定員
14人

◆会場
ニチイ学館・郡山支店門田
教室 ほか

◆受講料
無料

◆対象者
働く意欲のある55歳以上の
人(ハローワークでの求職登
録が必須です)

◆受講申込受付期間
9月3日(月)～20日(木)

◆申込・問い合わせ先
県シルバー人材センター連
合会
☎ 024-521-6081

有料広告を募集

広報にしあいつに掲載する
有料広告を募集しています。
詳しくは問い合わせくださ
い。

◎縦4マ×横8・5マ/1枠
◎1枠当たり5000円/月

◆問い合わせ先
企画情報課
情報政策係
☎ 45-4536

9月3日から
「子宮頸がん施設検診」
が始まります

子宮頸がん施設検診を9月
3日から開始しています。検
診申込者は忘れずに受診して
ください。



実施医療機関は右記のとおりです。まだ申し込
んでいない人で、これから受診を希望する場合は
ご連絡ください。

＜連絡・問い合わせ先＞
健康増進課 健康支援係 ☎ 45-4532

医療機関	電話予約連絡先
舟田クリニック産科婦人科	☎ 0242-23-1103
なるせとみこレディースクリニック	☎ 0242-37-7851
竹田総合病院※予約が必要です	☎ 0120-274-233
会津中央病院	☎ 0242-25-1525
あみウィメンズクリニック	☎ 0242-37-1456
おのぎレディースクリニック	☎ 0242-36-5051
山田産婦人科医院	☎ 0241-22-3032
ゆうゆうクリニック	☎ 0241-22-2111
坂下厚生総合病院	☎ 0242-83-3511

※実施期間は9月3日～12月25日までです。
※受診の際は受診券と健康保険証を持参してください。受診
録は医療機関で準備しています。
※子宮体がんの検診対象になった場合、その検査料は自己負
担になります。

ご寄付ありがとうございます
桃山会がチャリティーショーの益金を寄付

7月23日、桃山会普門連合会の生江克志さんが町役場を訪れ、7月8日に
開催した桃山会民謡カラオケチャリティーショーの益金の一部を町に寄付しま
した。生江さんは「町勢伸展のために活用してください」と薄友喜町長に寄付
金を手渡し、薄町長は「毎年の善意に感謝します」と謝意を述べました。
写真＝薄町長に寄付を手渡し生江克志さん(右)



平成30年度外国語指導助手辞令交付式
ローレンさんを外国語指導助手に再任

町では7月25日に平成30年度外国語指導助手辞令交付式を行い、ウィザー
スプーン・ローレンさんを再任しました。ローレンさんは平成28年8月に初
めて町の外国語指導助手に着任して以来、小中学校およびこゆりこども園での
英語指導や、町民の皆さんを対象とした英会話教室などに精力的に取り組み、
今年で3年目を迎えます。



＜問い合わせ先＞ 学校教育課 学校教育係 ☎ 45-2216



作りやすい分量 (2人分)

- 豚レバー・豚ひき肉 …… 各100g
 - 玉ねぎ …… 1/4個
 - 塩・こしょう …… 少々
 - 餃子の皮 …… 14枚
 - 揚げ油 …… 適量
- A
- おろしにんにく …… 小さじ1/2
 - おろししょうが …… 小さじ1/2
 - しょうゆ …… 小さじ1
 - オイスターソース …… 小さじ1
- 付けあわせ
- サニーレタス …… 6枚
 - ミニトマト …… 4個
 - レモンくし切り …… 1/4個

作り方

①レバーを流水でよく洗い、30分ほど水につける。②玉ねぎの皮をむき、みじん切りにする。③鍋に湯を沸かし、①のレバーと玉ねぎの皮を入れて火にかけて、火が通るまでゆでてザルに上げる。④玉ねぎの皮は取り除き、レバーの粗熱がとれたら5ミリの角に切る。⑤ボウルにひき肉、塩、こしょうを入れてよく練り、②の玉ねぎ、④のレバー、Aを加えてよく混ぜる。⑥餃子の皮に包み、170℃に熱した油で揚げる。⑦器にサニーレタスを敷いて餃子を盛り付け、ミニトマトとレモンを添えたら完成!

齋藤 紀子
管理栄養士



運動する子どもを
食からサポート!

食べることは
勝つための
第一歩!

① **食事の量を2割増しに**
1日1時間30分〜3時間の運動を週に2〜4回行っている小学校高学年では、男子は2500キロカロリー、女子は2250キロカロリーが目安です。

② **糖質とたんぱく質をたっぷり取ろう**
糖質は体を動かすためのエネルギー源であり、たんぱく質は筋肉や骨、血液など体をつくるために欠かせない栄養素です。

③ **鉄分を含む食材を意識**
鉄分は、スポーツをする子どもに欠かせない栄養素です。鉄分が不足すると、全身に酸素を運ぶ血液中のヘモグ

④ **牛乳・乳製品と果物はできるだけ毎食用意**
カルシウムとビタミンをしっかりと補給しましょう。

⑤ **栄養バランスを整えるため毎食6皿用意**
朝食、昼食、夕食ともに、主食、主菜、副菜(2皿)、牛乳・乳製品、果物の6皿を揃えることが大切です。これにより、食事の「質」が上がり、栄養バランスもグンとアップ、もちろん食事の「量」も確保できます。

運動能力を高めよう
5つのポイント

どんな試合でも、勝つためには健康で丈夫な体が基本です。これを左右するのが日々の食事で、不規則な食生活や偏った食事を続けていると、練習がきつく感じたり、疲労がとれにくくなったりすることがあります。日々の食事で体をつくり、練習で技術を磨く。そして、しっかりと睡眠をとって疲れを取り除く。この3つが循環してこそ、スポーツに適した強い体が形成され、競技力の向上へとつながるのです。

がん検診 未来の自分にできること

公益財団法人日本対がん協会 2018年度がん征圧スローガン

2人に1人が「人生で一度がん」3人に1人が「がん」で死亡。がんは、とても身近な病気になりました。がんの原因はひとつではなく、複数の要因が関連して発症します。誰でも高齢になれば、がんになる確率が高くなりますが、生活習慣を改善することで多くの人のがん予防につながることも分かっています。

がん検診、精密検査
までが検診です

町では、胃がん、乳がん、子宮がんの受診率が県の目標に達していません。また、検診を受けて精密検査が必要となった人で、精密検査を受けていない人もいます(表1)。検診をきちんと受けるこ



科学的根拠に基づく
日本人のための
がん予防

科学的根拠に基づく日本人のためのがん予防。科学的根拠に基づく日本人のためのがん予防。科学的根拠に基づく日本人のためのがん予防。

ンならボトル3分の1本)。
食事|| 偏食せず、栄養バランスを考えて食べる(食塩は1日あたり男性8g、女性7g未満が目安。野菜、果物不足に注意。飲食物は熱い状態で取らない)。
身体活動|| 日常生活を活動的に過ごす(歩行やそれと同等の運動は1日60分。息がはずみ、汗をかく程度の運動は1週間に60分)
体形|| 成人期での体重を適正な範囲に維持する(太りすぎない、やせすぎない)。
感染|| 肝炎ウイルス感染の有無を知り、適切な措置をとる。機会があればピロリ菌の感染検査を受ける。

禁煙|| たばこは吸わない。他人のたばこの煙を避ける。
飲酒|| 飲むなら節度のある飲酒をする(日本酒なら1合、ビールなら大瓶1本、焼酎なら1合の3分の2、ウイスキーならダブル1杯・ワイセください)。
※がん予防法の内容を詳しく知りたい場合は、健康増進課・健康支援係に問い合わせください。

表1 平成29年度がん検診結果

検診名	受診者数 (受診率)	福島県の 目標受診率	精検者数	精検受診者数 (精検受診率)	がん 発見数
胃がん	914人 (34%)	50%	78人	53人 (68%)	2
大腸がん	1,376人 (53%)	50%	103人	70人 (68%)	2
肺がん (胸部)	40~64歳	50%	2人	1人 (50%)	0
	65歳以上	50%	63人	50人 (79%)	1
(喀痰)	40歳以上	50%	4人	1人 (25%)	0
乳がん	366人 (38%)	60%	30人	29人 (97%)	3
子宮がん	455人 (40%)	60%	6人	6人 (100%)	0

精密検査もしっかり受けましょう!



健康支援係
田崎美記子保健師長

すごいな! むし歯のない子



7月19日、3歳児6人を対象に健康診査を行った結果、むし歯のない子は4人でした。



にしあいづ物語講座から

新郷での戊辰戦争

町公民館では、町内各地区の「にしあいづ物語100選」を題材とした講演会やフィールドワーク「にしあいづ物語講座」を昨年より開催し、町の歴史と文化の普及啓発を行っています。本年度の第1回目は、新郷地区で開催しました。今年度は戊辰戦争から150年ということで、全国各地で幕末や明治をテーマとしたイベントが企画されていますが、本町にも注目すべき歴史があります。



→講師の長谷沼さんによる陳ヶ峯の解説

厳しい暑さが続く8月4日、本町における戊辰戦争の歴史に興味を持つ多くの参加者が新郷連絡所に集結しました。今回の講座のメインは、柴崎と呼賀で起きたヤーヤー一揆の際につけられた刀傷痕を見学することです。バスに乗り込み、講師の長谷沼清吉さんから戊辰戦争時の町周辺における西軍と東軍の動向や幕末から明治期にかけての農民たちの様子について話を聞きました。



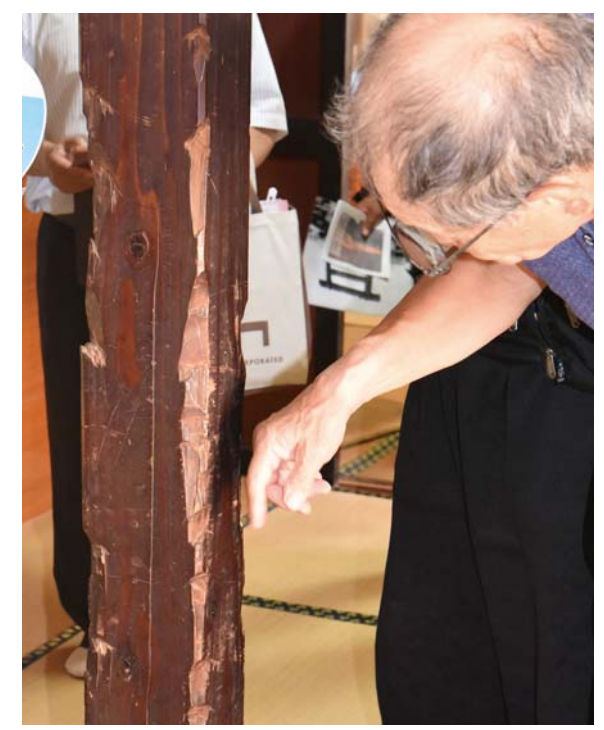
↑ヤーヤー一揆で狙われた水帳箱

に占拠された柴崎からはじまり、西軍と東軍の戦闘があった滑沢、平明、そして新撰組の齋藤一や幕府砲術隊の大鳥圭介が西軍と戦ったといわれている陳ヶ峯峠までです。柴崎と呼賀では柱にしっかりと残された生々しい刀傷痕や、水帳箱などの貴重な資料を見学し、今も残る当時の肝煎ならではの屋敷の間取りなどを知ることもできました。他の見学箇所でも、西軍と東軍それぞれの配置や動きについて講師が解説し、現在の地形から当時の戦闘の様子を想像しました。

き、今回のフィールドワークで得た知識をさらに深めることができました。今回のにしあいづ物語講座では、実際に縁ある場所を訪れ、現存する資料を見学することにより、当時の出来事をよりリアルに感じ、激動の時代を懸命に生き抜いた先人たちの姿に思いをはせることができました。町公民館では、これからも私たちが住む西会津町に関わる歴史を学び、「過去にどのようなことがあったのか」ということを後世に伝えていきます。



↓訪問した家にまつわる深い歴史を聞きました



↑生々しい刀傷痕が残っていました

西中図書館 新刊オススメ本



『風は西から』
村山 由佳 [著]
幻冬舎

なぜ彼は自ら死を選ばなければならないほど追い詰められてしまったのか？ 恋人を過労自殺で失った主人公、千秋。彼の死の真相を知りたいと大企業に立ち向かいます。低姿勢を装いながら、お金で解決しようと言葉巧みに言い訳を繰り返し、遺族に圧力をかける権力者の姿は、小説の中だけでない現実の出来事とリンクして憤りを感じずにはいられません。悔しくて涙し、また、人の温かい優しさにも涙した心に深く残る一冊です。



『青嵐の坂』
葉室 麟 [著]
角川書店

『ののほな通信』
三浦 しおん [著]
角川書店



『若山曜子のワンボウルサラダ ボウル1つでこんなにつくれる！』
若山 曜子 [著]
NHK出版

『体の「サビ」「コゲ」をそぎ落とせ。糖尿病もシミ・シワ、脳の老化も一掃できる』
栗原 毅 [監修]
主婦の友インフォス



町民ギャラリー まんさく俳句会

鳥追観音堂前に数多くの句碑があることはご存知のとおりです。その中の一つに、会津に現存する最も古い句碑（享保12年・1727）があります。白蓮尼という人の句です。

「燭火や照らせ給へる白蓮華」
まんさく俳句会代表 矢部 征男

- 一語づつ区切り物言ふ溽暑かな
相原 芳子 (野沢上原)
- 夜の秋おしゃべり子らはまりもななく
小野木 麗子 (真ヶ沢)
- 夜の秋中也の詩集卓に置き
薄よし子 (平明)
- 秋野菜蒔くをためらふ陽の強き
佐藤 ノシ (極入)
- 太鼓音に孫の手拍子夜の秋
田崎 宗作 (小杉山)
- 月涼し孫と戯むる下駄の音
西尾 公子 (野沢上原)
- 隣りあふ老老介護夜の秋
長谷川 清子 (野沢下小屋)
- 笑いヨガ燕の糞の置きみやげ
小林 雪柳 (講師・選者)

戸籍の窓口 (7月受け付け分)

■ まちの人口

	8月1日現在	(前月比)
人口	6,427人	(-28人)
男	3,100人	(-19人)
女	3,327人	(-9人)
世帯	2,678世帯	(-7世帯)

■ お誕生おめでとう

鈴木 ^{みずは} 瑞葉ちゃん 裕紀・優子 9町内2

■ ご結婚おめでとう

岩原 隼 7町内
齋藤 雅子 さゆりが丘

■ お悔やみ申し上げます

物永 豊久 (84)	伸次 父	芝草
山口 フキ (94)	富二男 母	尾登
青津 誠一 (70)	隆一 父	縄沢
佐藤 昭悦 (84)	賢一 父	出ヶ原
神田 羨子 (87)	斎藤京子 母	上野尻
長谷川 久雄 (84)	ホマレ 夫	下野尻
渡邊 好樹 (66)	及川美津子 兄	白坂
海沼 智徳 (61)	賢勇 兄	樟山
猪俣 サイ (94)	ミヨシ 母	道目
三瓶 隆雄 (77)	祐一郎 父	山浦
高橋 熊次郎 (88)	隆夫 父	出戸
五十嵐 和義 (71)	和之 父	松峯

Dream

聞いて！ わたしの夢



[3年・剣道部 部長]

三留 ^{あやか} 綾華さん

◆ 私の夢——

私は将来、保育士か学校の先生になりたいと考えています。なぜなら、小さな子どもたちといて楽しいし、自分の長所でもある「優しさ」や「笑顔」を生かして仕事をしてみたいと思ったからです。

◆ 努力していること——

小さな子どもと接するときは、目線を合わせたり、分かりやすい言葉で話したりすることを心掛けています。また、保育実習など、自分が将来なりたい職業を体験できる場があれば、積極的に参加しようと思っています。

◆ 未来の自分に一言——

保育士か学校の先生になって、楽しい生活を送っているかな？ 笑顔を忘れずに頑張っ
てね！

Person

町民バトンタッチ

目黒 ^{たかゆき} 貴之さん [牛尾]



◆ 趣味は？

料理

◆ 熱中していることは？

旅行

◆ 最近感動したことは？

新居が上棟したこと

◆ 自分を一言で表現すると？

負けず嫌い

◆ あなたのモットーは？

為せば成る

◆ 特技は？

剣道

◆ 今後やってみたいことは？

娘と剣道を始めたい

◆ 次の方を紹介してください

S・Tさん (出ヶ原)

とっておきの物は？

娘が初めて描いてくれた似顔絵です。娘が3歳のとき、保育園で一生懸命描いてプレゼントしてくれました。今でも部屋に飾っています。



三留 ^{こうぜん} 光善さん (8月号) から

忙しいと思いますが、よろしくお願
いします。



Column

協力隊リレーコラム

人足は貴重な体験だ
西会津町の協力隊として着任してからもうすぐ1年半。この短期間に数十年に1度の大雪山と猛暑を経験することになるとは思いもしませんでした。四季それぞれが色濃いぶん、季節の移り変わりや節ごとの景色に敏感になった気がします。私は現在、集落の人足の支援をしています。福島大学の学生を呼んでいるのですが、ゆくゆくはいろいろな人を呼び込めるような制度にしていければと思っています。
ここにくる学生たち、実はボランティアがしたいという動機で来るのは少数派です。その多くは住民との触れ合いや、都市部では味わえない自然を楽しみにやってきます。単なる地域の手助けに留まらせるのではなく、参加者にとって四季を感じる自然体験として、そして住民の皆さんとの交流の場として人足を活用していけるのではないのでしょうか。



小林 ^{たくや} 拓也 隊員

栃木県出身、24歳。福島大学卒。平成29年4月から集落支援担当の町地域おこし協力隊員。集落の共同作業である「人足」を体験型イベントとして開催し、地域の人手不足解消を図る仕組みづくりに奮闘中。

坂内利三郎と黒沢鉦山群の物語

坂内利三郎は、元禄3年（1690）9月、金山町玉梨の坂内家五代の二男として生まれ、家が貧しいため、滝谷（三島町）の庄屋、山ノ内吉衛門宅に奉公に行った。やがて18歳で年期があけると、横田鉦山で働き、横田城主山ノ内氏勝とのつながりを持った。そして24歳のときに黒沢（鈍子岩鉦山）で働き、黒沢一帯の鉦山を支配して会津藩の財政確立に大きな貢献をしたという。

坂内利三郎の遺書のこしがきの中から、利三郎の事績を年譜にまとめると次のとおりである。享保6年（1721）、坂内利三郎、兄新五衛門と黒沢鈍子岩鉦山で働き始め、同11年（1726）、利三郎兄弟は会津藩、江戸屋敷に赴き金山奉行・長坂平左衛門に願って銅板10万3,500枚、1両につき銅板8貫200匁を請け負い、金子100両を受け取った。同12年（1727）、利三郎は会津へ下り、金山御役所より金子50両と米150俵を受け取り日向倉鉦山を開発。同13年（1728）、利三郎、姥沢・日向倉鉦山に江戸職人多数を呼び寄せ、1カ月で釜数15（釜床屋は鈍子岩の西に拵こしらえた）、毎月600貫余の銅を吹きたてる。同14年（1729）、利三郎、銅板10万3,500枚を会津藩に納め代金1,150両となる。黒沢の鉦山群は昭和21年10月に閉山した鈍子岩鉦山を最後に全て閉山となった。利三郎は鉦山の成功を記し、観音像を2体作り、1体を本家菩提寺の玉梨の常楽寺に、もう1体を黒沢坂内観音堂に納めた。山ノ内氏勝の墓も同じ場所に移すも、黒沢分は昭和31年の水害でともに流失した。坂内家の隆盛を物語る異聞として民謡「会津磐梯山」の歌詞の「会津磐梯山は宝の山よ」は「会津坂内さんは宝の山よ」が元歌という人もいるが定かではない。



↑黒沢鉦山群の坑道入り口跡



↑鈍子岩鉦山選鉦場跡



今月の表紙

今月の表紙は、8月14日に
行われた「魚つかみ」から。
当日は、会場となった熊沢自
治区内の鬼光頭川に楽しそう
な歓声が響きました。
※12ページに関連記事

編集後記

町役場の庁舎が移転して1
カ月余。皆さんはもう訪れま
したか？ 1階には町民ホー
ルもありますので、気軽に利
用していただければと思いま
す。企画情報課は事務室が広
くなり、旧庁舎よりも快適な
職場環境となりました。で
も、少し気になることが…。
それは、小学校を改修して
造ったということ。学校とい
えば怪談がつきもの。ただで
さえ慣れない建物なのに、こ
の先入観のせいで、遅くまで
残っていると後ろが気になっ
て気になって。そのうち慣れ
ると思っのですが、しばらく
くはびくびくしそうです。
お化けは出ません 長谷川祐一